

第4章

かづよい産業づくり

第3節 ● 観光の振興

第2節 ● 商工業の振興

第1節 ● 農林業の振興

第1節 農林業の振興

1 農業の振興

[現状と課題]

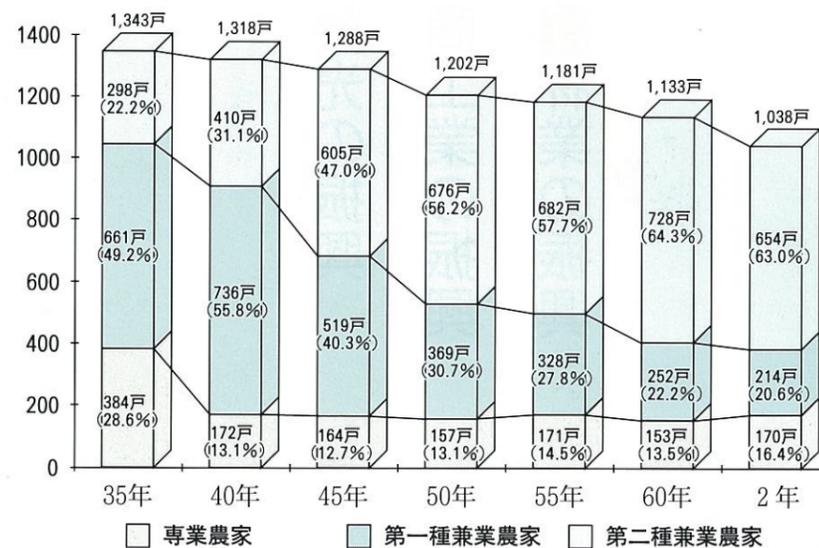
1 本村の農業は、限られた経営規模のなかで生産性の向上を図るため、生産基盤の整備が着々と行われ、果樹を中心とした高生産農業が展開されています。

2 しかしながら、担い手の高齢化の進行、新規就農者の減少等、農業労働力の不足は危機的な状況を迎えつつあり、農業生産の低下はもとより、村全体に沈滞ムードが広がる懸念があります。こうした状況を打開するためには、早急に思い切った構造改革を進めていくことが必要です。

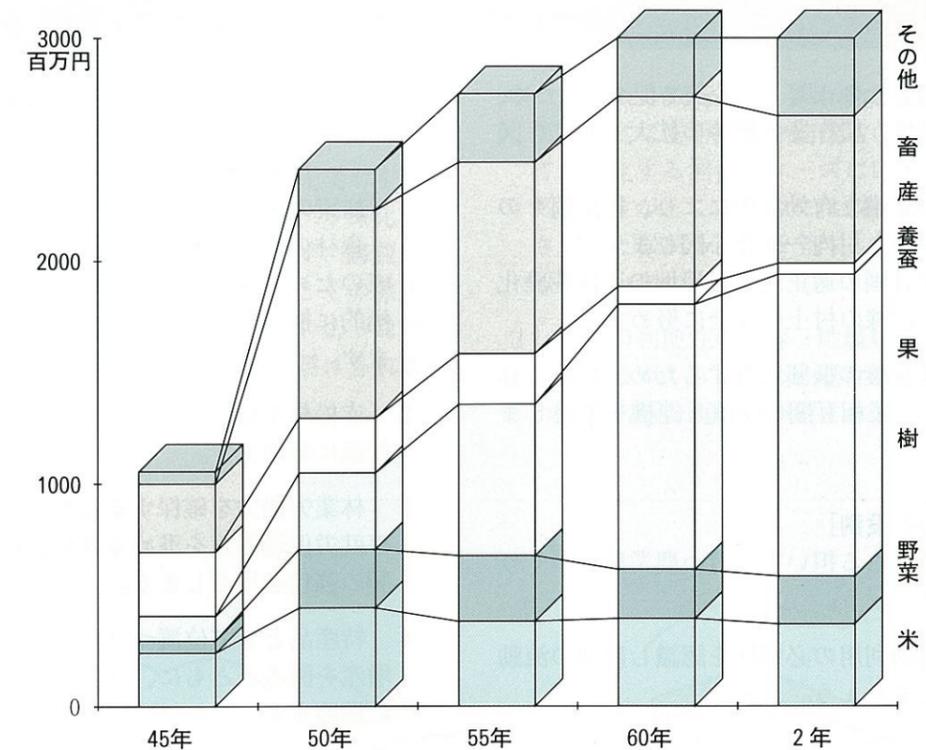
3 農産物に対する消費者ニーズはますます多様化、高度化する傾向にあり、このことは、高品質の作物生産をめざしてきた本村農業にとっては歓迎すべきことでもあります。今後も生産技術の向上に努めるとともに、販売面でも創意工夫をこらし、時代の要請に応え得る農業の展開が望まれます。

4 農地は農業生産の基盤であるばかりでなく、緑の国土の保全、水源かん養等の公益的機能も持っています。農地の他用途への需要増加が見込まれることから、計画的な土地利用により高度利用を図るなかで優良農地を保全するとともに、増加している遊休荒廃農地の活用も大きな課題となっています。

農家数の推移



農産物生産額の推移



年	米	野菜	果樹	養蚕	畜産	その他	計
45年	234	57	110	291	303	59	1,054
50年	437	266	341	248	929	184	2,405
55年	377	292	685	226	857	308	2,745
60年	391	219	1,191	80	850	368	3,099
2年	367	213	1,358	49	660	351	2,998

[施策の展開]

1 農業の担い手の確保と育成

- 農業団体と協力し、担い手の確保対策を総合的に推進します。
- 農作業の受委託、協業化を、作物や地域の特性に合わせて推進するとともに組織的な農業経営体の設立に努め、農地の有効活用と農業労働力の確保、拡大を図ります。
- 中核農家や女性農業者の育成、活動支援を行います。

2 生産性の向上対策

- 土地基盤や近代化施設の整備により、労働生産性の高い農業の展開を図ります。
- 天竜川沿岸の下段地域を中心に農地の他用途への需要が高まっていますが、これらとの調整を図りつつ優良農地の確保を図り、農地の流動化により有効活用を推進します。
- 生産技術の向上と先端技術導入を積極的に推進します。
- 農産加工による付加価値の増加を図ります。

3 個性ある農業・農村の創出

- 高品質の果物をPRし販売できる体制づくりを推進します。
- 農業を通じた都市等との交流を促進するため、オーナー制度、農作業体験等の拡大・充実を図ります。
- 情報網の整備と有効活用により、農家個々のパワーアップと村内一体化を図ります。
- 土地利用計画の適正運用と農地の遊休荒廃化防止により、緑の村土の保全に努めます。

4 村の産業全般の振興に資するため、農業、林業、商業、工業相互間の交流と連携を推進します。

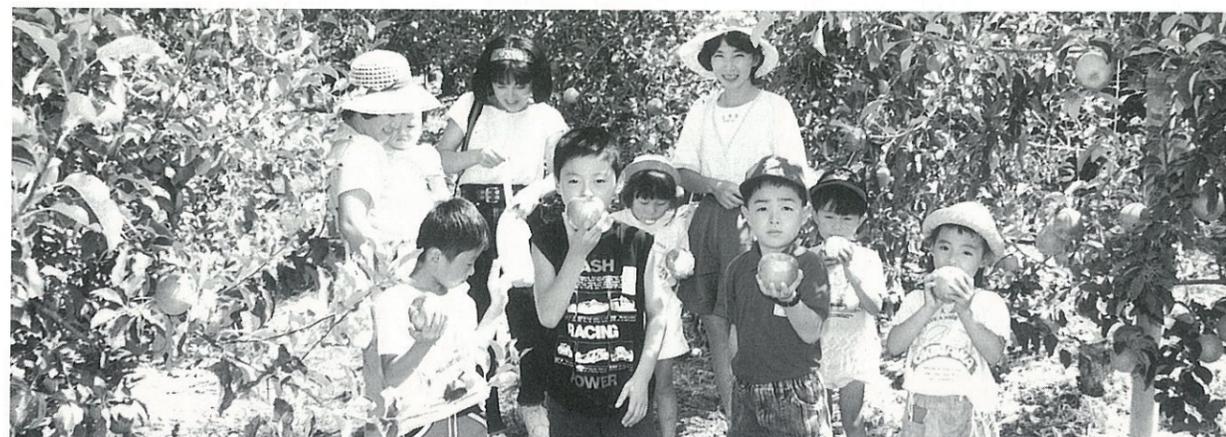
[村民の協力と役割]

- 1 将来展望のある担い手の育つ農業農村づくりを推進しましょう。
- 2 農地の有効利用の必要性を認識し農地の流動化を促進しましょう。

2 林業の振興

[現状と課題]

- 1 森林に対する要請は、林産物の供給、水源のかん養、自然環境の保全形成等多岐にわたっており、多面的な機能を発揮させることが重要となっています。



来村したりんごの木オーナーの皆さん

- 2 しかし、こうした森林の機能を維持発展させていくためには、林業従事者の減少、高齢化が進んでおり、林業労働力の確保等森林の維持管理のための体制整備を図ることが必要となっています。

[施策の展開]

- 1 森林の有する多面的機能を維持発展と財産形成のため、森林整備計画に基づき森林造成を計画的に推進するとともに、弱齢林の保育に努めます。
- 2 赤松林を松くい虫の被害から守るため、防除対策に努めます。
- 3 林業労働力を確保するため、労働条件の向上等就労促進対策を進めるほか、森林組合組織体制の強化をめざします。
- 4 特産品として位置づけされているマツタケの増産を図るとともに、有効利用の方策を総合的に進めます。

[村民の協力と役割]

- 1 私有林の手入れに努め、美しい森林をつくりましょう。
- 2 自然保護を推進しましょう。

第2節 商工業の振興

1 商業の振興

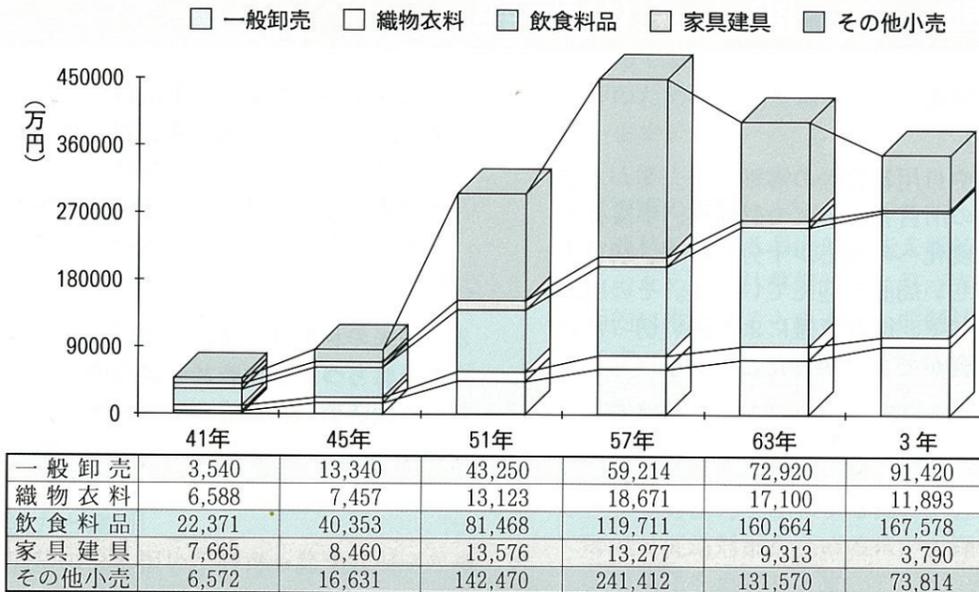
[現状と課題]

- 1 飲食料品や日用雑貨等の零細な小売業が主ですが、近年の消費者ニーズの個性化、多様化や交通体系の変化への対応が十分できず、購買力の低下等厳しい局面を迎えています。その原因のひとつとして、後継者難により思い切った経営改善や投資ができなかったことが挙げられます。

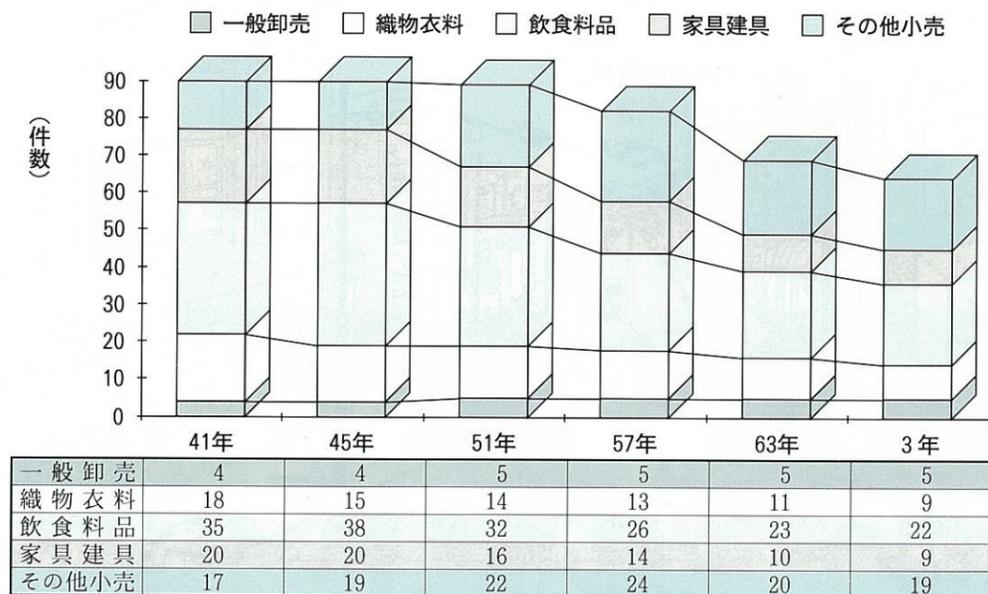
- 2 これからの商業は、単に物を売るだけでなく、より高度な生活提案や消費者のサービスを通して高度化する消費者ニーズに応じていく必要がありますが、このためには個々の商店の努力もさることながら、まち全体としての対応が求められています。
- 3 住民の利便性の確保、地域経済の振興、風格あるまちづくりのため、既存商店の育成を図りつつ商店街の再編成が望まれます。



産業分類別商品販売額の推移(飲食店を除く)



産業分類別商店数の推移(飲食店を除く)



【施策の展開】

- 1 消費者が楽しく便利に買い物ができ、サービスが受けられ、地域の交流の場となるような商店街づくりを進めるため、施設整備や営業企画等にきめ細かな支援を行います。
- 2 地域の消費者と商店との結びつきを深めるための調査研究、イベントの開催等ソフト活動の充実を促進します。
- 3 後継者をはじめ、商業振興の担い手を確保するため、人材育成対策を強化します。
- 4 村中心部に、ふさわしい魅力ある商店街にするため、近代化、共同化の計画を促進します。

【村民の協力と役割】

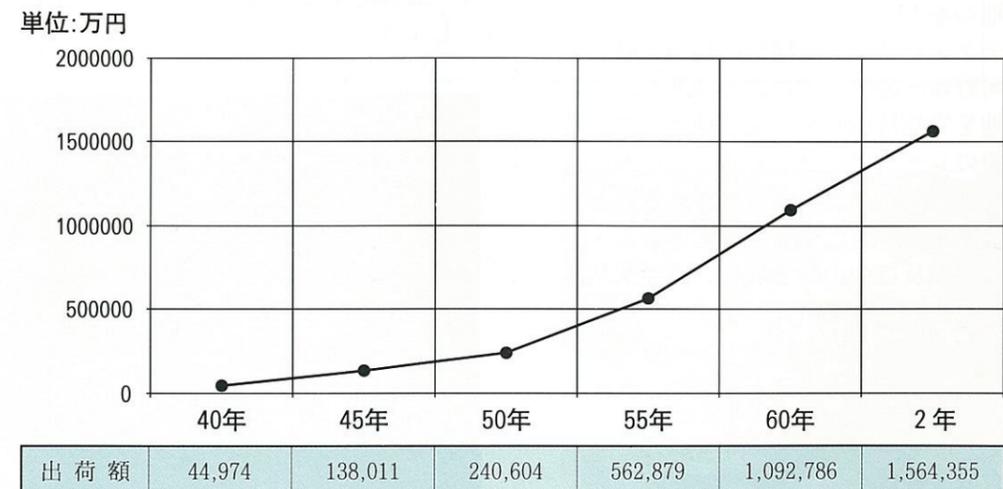
- 1 消費者ニーズに的確に対応し、消費者に愛される商店づくりに努めましょう。
- 2 風格あるまちづくりに関心を持ち、商店街の再編成に協力しましょう。

2 工業の振興

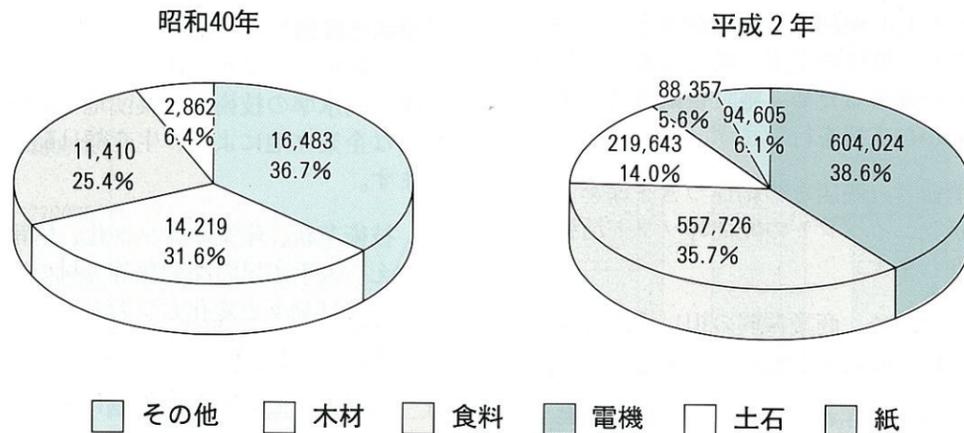
【現状と課題】

- 1 小規模な企業が主体ですが、特色ある製品生産や高水準の技術と工業団地の造成等による新たな企業立地により、生産額は順調に伸びています。
- 2 技術革新、産業のソフト化、情報化の進展に加え、人手不足の深刻化等当村の工業を取り巻く環境は刻々と変化しており、既存企業の育成に様々な条件整備が求められています。
- 3 当村はもとより飯伊地域には研究開発型企業や先端技術企業が少なく、今後の工業全般の進展や地域の経済力の底上げ、さらには、若者の就業の機会や選択の拡大のためこうした企業の立地が求められています。
- 4 企業立地を進めるにあたっては、他産業との調和を図りつつ、豊かな田園風景を損なうことのないよう、整然とした土地利用への配慮が望まれます。

工業の年間出荷額の推移



工業年間出荷額の種類の比較



[施策の展開]

1 地域産業の振興

- 中小企業の経営合理化、施設整備等が円滑に推進されるよう、融資・助成制度の強化を図ります。
- 経営安定のため、販路拡大、受注対策の強化を図ります。
- 技術革新、製品開発のための研修、情報収集等について支援を推進します。

2 産業立地の推進

- 長野県テクノハイランド構想に基づく県営工業団地の河野新田地区への誘致を推進します。
- 当該団地を先端技術産業の集積地として、地域工業全般のレベルアップと若者定住促進を図るため、優良企業の誘致について努めるとともに、周辺の道路網や環境整備等を促進します。
- 河岸段丘地域及び中山間地域へ、研究型産業を中心とした企業誘致を研究します。
- 工業立地については、土地利用や周辺環境との調和に配慮しつつ推進するとともに、既存企業の育成にも配慮します。

3 人材の育成・確保

- 人材育成のため、企業と連携を図りつつ、研修制度の支援を行います。

●生活環境整備や住宅対策等居住環境の向上を推進しつつ、研究者や技術者の受入れ、新規学卒者の地元定住やIターンの促進により人材の確保を図ります。

[村民の協力と役割]

- 1 技術力の向上を促進しましょう。
- 2 企業と地域住民との交流を推進しましょう。
- 3 公害防止と産業廃棄物の適正処理を促進しましょう。



工業団地建設計画のある河野新田

第3節 観光の振興

1 観光の振興

[現状と課題]

- 1 高速交通時代、ゆとりの時代の到来に対応して各地で観光、リゾートの振興が行われています。本村の観光資源は、緑豊かな自然と、清らかな水の流れ等であり、大規模な観光開発資源に乏しいことから、自然環境の保全に配慮しつつ、訪れる人にやすらぎを与え、素朴さと人情味豊かな観光でなくてはなりません。
- 2 しかし、交流の促進や、地域の活性化のためには、魅力ある場所や施設、イベント等が必要であり、既存の観光事業の健全育成はもとより未開発の自然や豊かな農業等を活かした施策を体系的に進める必要があります。

[施策の展開]

- 1 既存の観光事業の健全発展のため、研究と支援を行います。
- 2 未開発の自然を背景に、豊かな農林産物を生かした個性的な観光事業を展開します。
- 3 森林や溪流に親しめる施設、オーナー制農園や体験農園の設置、レクリエーションや休養施設の整備等、既存施設を含め体系的に整備します。

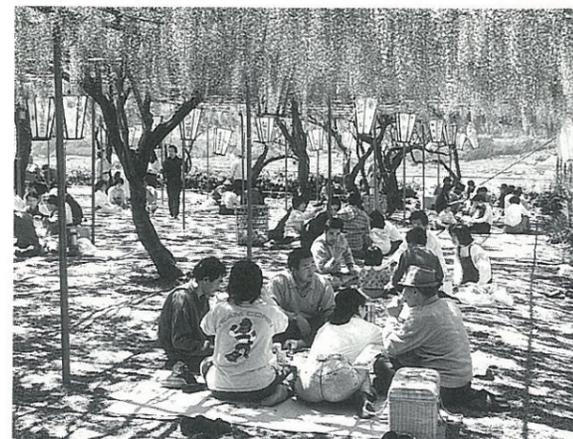
[村民の協力と役割]

- 1 特産品の開発を推進しましょう。
- 2 豊丘村の良さのアピールに努めましょう。
- 3 村外者との交流の輪を広げましょう。

観光客入り込み数

	H 2	H 3	H 4
野田平	1,998人	1,987人	1,844人
三色藤	23,000	25,000	24,000
まつたけ観光	2,200	2,300	200

(野田平はキャンプ場宿泊人数、三色藤、まつたけ観光は概数)



泉龍院 三色藤



野田平キャンプ場まつり